

キャラクター名
ヘルツ・ケープバリー

— プレイヤー名 —————

種族	シザースコーピオン	種族特徴	暗視/蠍人の身体/蠍人の体術/弱点(物理+2)		
生まれ	野伏	性別	男	年齢	20
冒險者Lv	2	経歴	始まりの剣を探している		
経験点	0		奴隸扱いをされている(いた)		
			第1の剣の神に入信を迫られたことがある		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	11	器用度	9			20	3
		敏捷度	4			15	2
体	9	筋力	5			14	2
		生命力	9			18	3
心	6	知力	8			14	2
		精神力	9			15	2

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	2		
レンジャー	1		
アルケミスト	1		
フィジカルマスター	1		

戦闘特技

練技/呪歌/騎芸/賦術

技能	技能 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	2	5	4	4
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	クロースアーマー	必要		
		ランク	筋力	回避力
鎧		1	0	2
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	グラップラー	合計値	4	2

一般装備品	(消耗チェック)
バルバロス携帯品セット	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
救命草x5	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
魔香草x2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
アウェイクポーション	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

マテリアルカード赤Bx3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	15 m	45 m	2d+ 4	2	24
魔物知識/弱点	先制力		生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+	0/×	2d+ 0	2d+ 5	2d+ 4	15

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	
背中	
右手	
腰	
足	
その他アルケミーキット	

—その他×干—

海にほど近い谷場に位置するアンドロスコーキオンの集落であるケープアリー士族に生まれたヘルツは、幼いころから時折、自分の頭の中にだけ響く声を認識していた。

ヘルツがその声を自身の妄想だと決めつけなかったのは、その声が自分の知りえない知識、すなわち人族の事、そしてこの世界の成り立ちを知っていたからだ

そんな声と付き合いながら成長したヘルツの精神性はどこか変わっており、アンドロスコーピオンの社会になじむことができず、成人を機に慈父を飛び出し、世界を旅するヒーローになった。

集落を飛び出し、世界を旅することなどない。その旅の中で目にしたバルバロスの集落の様子が、話に聞いていた人族の社会とあまりに違うことに愕然とし、そこで思い出した。

以前、謎の声からきいた世界の成り立ちの話。そこで語られていた「始まりの剣」に触れることで大いなる力を手にし、バルバロスを導くことができるのではないか。

ヘルツは、自身の旅の目的を「バルバロスの社会の繁栄のため」と位置づけ、始まりの剣を探すこととした。ただ今は、石膏領で半ば奴隸のような扱いで飼い殺しにされている状態だ。

自動失敗
チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑯
□□□□⑳
□□□□㉓
□□□□㉖
□□□□㉙
□□□□㉚